

王政復古期の歴史図像 —ルイ18世のパリ入城とアンリ4世騎馬像

安室 可奈子(日本大学)

フランソワ・ジェラルム作《パリに入城するアンリ4世》(1817年のサロン、ヴェルサイユ宮国立美術館)は、フランス王政復古期にルイ18世政府から注文を受け描かれた大型の歴史画である。16世紀末、宗教戦争の対立の中でユグノーであったアンリ4世が自らカトリックへと改宗し、パリに平和的に入城する瞬間を描いている。先行研究ではこの作品注文の背景に、ブルボン王朝の始祖であったアンリ4世の継承性を主張することで復古王政の安定を図ろうとする意図があったことが指摘されている¹。

本発表はこの王政復古期におけるアンリ4世の視覚イメージ利用を、時事的歴史主題という新たな切り口から分析するものである。注文主のルイ18世は1814年5月3日、王政を復活させるべくパリに入城した。パリ国立図書館のヴァンク歴史版画コレクションには、その際のパレードの情景が表された図像が多数みとめられる²。それらはアングルや視距離を様々に変えながら、ポン・ヌフ橋を馬車で通過するルイ18世を描いている。沢山の群衆が沿道で見物している。その画面構成に必ず組み込まれているのがアンリ4世騎馬像である。当時まだ珍しかった気球も描かれ、祝祭ムードを盛り上げたことがわかる。出来事とほぼ同時期に流通したこれらの歴史版画は、アンリ4世とルイ18世が意識的に関連づけられていたことを傍証する史料である。また同じ1814年のサロンではメランがこの場面を描いた水彩画を出品し、国王直々の買い上げとなった³。

ところで実際のアンリ4世騎馬像は数奇な運命を辿っている。17世紀に制作されたブロンズ像は、1792年に大砲を作るため溶解されて以降ポン・ヌフ橋を不在だった。ルイ18世のパリ入城に合わせて、迎える王党派の高官たちが急場しのぎの石膏模型を制作、設置させたという。その台座には「ルイ帰って、アンリ甦る」というラテン語の銘文が刻まれた。王政の再出発によって、アンリ4世の視覚イメージが熱心に求められていた事を示す傍証である。その後、あらためて新騎馬像の設立事業が進められ、1819年8月には除幕式が行われる。新しいアンリ4世騎馬像が鑄造所からポン・ヌフまで運ばれる際には、大勢のパリ市民が歓喜し、彫像を乗せた荷台を代わる代わる引いたという。ヴァンク・コレクションにはこの情景も多数版画に残されている。こうした状況は、この新騎馬像設立の責任者で公共建築物保存官を務めていたラフォリの詳述を始め、同時代の複数の言説によって確認できる⁴。

以上のようなルイ18世のパリ入城とアンリ4世騎馬像をめぐる一連の歴史的事実と図像群の存在は、ジェラルム《アンリ4世のパリ入城》の成立過程における注文主の意図を炙り出すものと言える。カトルメール・ド・カンシーが新騎馬像の設立委員を務めており、美術アカデミーにおいても王政復古の象徴としてのアンリ4世というイメージは当然周知されていた。画家自身もまた1814年のサロンにはルイ18世の肖像を出品している。ルイ18世のパリ入城を描く先行作例によってこうした視覚上の関連づけを参照しつつ、作品を構想したことは想像に難くない。

¹ KAUFMANN(R.), “François Gérard’s « Entry of Henry IV into Paris » : The Iconography of Constitutional Monarchy”, *The Burlington Magazine*, CXVII, 1975, pp.790-802.

² ROSSET(A.-M.), *Collection de Vinck, Inventaire analytique, V : La Restauration et les Cents jours*, Paris, Bibliothèque Nationale, 1938.

³ ROUEN, Cat.exp. : *Trésors cachés : chefs-d'œuvre du cabinet d'Arts graphiques du château de Versailles*, SALMON,X., Musée de la ville de Rouen, Musées de la ville du Mans, c2001, pp.118-119.

⁴ LAFOLIE(C.-J.), *Mémoires historiques relatifs à la fonte et à l'élévation de la statue équestre de Henri IV sur le terre-plein du Pont-Neuf à Paris avec des gravures à l'eau-forte représentant l'ancienne et la nouvelle statue*, Paris, Le Normant, 1819.